

20 豊道建第 215 号

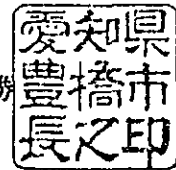
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長

金 井 道 夫 様

豊橋市長

早 川 勝



今後の道路行政についての意見・提案の提出について (回答)

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号にて依頼のありましたこのことについて、別紙
のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見

東三河南部地域の市町、経済団体は、三河港周辺地域産業幹線道路ビジョンを作成し、整備段階における円滑な物流を支える道路整備を提唱しています。

また、東三河地域全体を広域医療・広域防災など一体的な生活圏として連携させるため、市町村、経済団体、農林業団体など地域が共通の思いを持って、広域幹線道路網や東三河縦貫道路(軸)を基軸とした幹線道路の整備に取り組んでいます。

今後の道路行政のあり方としては、これら地域ビジョンの実現を図るため、

- (1) 国と地方がそれぞれの責任に応じた施設の整備と管理を行うこと。
 - (2) 地方が主体的に整備、管理を行うため、適正な財源の移譲を行うこと。
- が必要であるものと考えています。

地方が主体的な道路行政に取り組み、地域形成を図るため、別添意見を添え提案しますので、どうぞよろしくお願いします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

愛知県豊橋市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

(1) 国と地方の責任分担の明確化

①【国が責任を負うべき道路整備】

- ・高規格幹線道路や地域高規格道路は、国の責任で整備を推進。

②【地方の自主性による道路整備】

- ・地方の道路整備は地域の実情に合わせ規格・構造を含め地方の裁量で整備する。
- ・地方への財源移譲・自由度の高い臨時交付金などの制度の拡充。

(2) 費用対効果を総合的に評価する新たな制度

- ・現在の評価方法では地方の道路は必ずしも正當に評価されない。
- ・命の道、安心の道、活力の道 などとして特に医療に配慮した整備が可能となるように見直す。
 - 命の道(緊急医療を支える必須性)
 - 安心の道(広域医療・広域防災への貢献、定時性確保効果)
 - 活力の道(新規企業立地効果、既存事業所の収益・就業向上効果)

(3) 効率的な交通資産の活用

- ・公共交通機関の活用
- ・カーシェアリング等新たなシステムの研究

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－1 地域の現状と抱える課題

愛知県豊橋市

○現状	○課題
(1)三河港から高速道路までの幹線道路整備が不十分。 日本第7位の港湾ながら高速道路へは30分以上要する。	産業振興を図る物流を支える道路整備が必要。
(2)東三河山間部では医療不安や若者の流出による過疎化が進む。	救急病院へのアクセス確保が重要。 地域が一体となった生活圏を強化する基盤整備が必要。
(3)愛知県は交通事故数が多く、中でも豊橋市は県下で1、2を争う多発地域。	交差点改良、歩道設置等の施設対策が必要。 啓発活動のほか標識・標示などのソフト対策も必要。 地域公共交通(バス・路面電車等)の活用。
(4)道路施設の更新時期が集中するため、更新に対する財源不足を危惧。 適正に管理できない場合、道路網の機能低下を懸念。	橋梁等の延命化などにより更新時期の分散を図る。 維持管理費の確保・充実。

②-2 地域の目指すべき将来像

東三河地域は、遠州地域や南信州地域との交流拠点として重要な責任を担う地域である。

本市では、三河港を中心とした産業幹線道路ビジョンの実現により整備段階における円滑な物流を支える道路整備を提唱している。

また、地域全体を広域医療・広域防災など一体的な生活圏として連携させるため、広域幹線道路網、東三河縦貫軸を基軸とした道路網の構築を目指している。

(1)【三河港周辺地域産業幹線道路ビジョン】

東三河南部地域は、本州のほぼ中央に位置し、製造品出荷額や農業算出額において、常にトップクラスを維持しており、全国的に有数な産業集積地であることから、その潜在能力を最大限に引き出すのに十分な投資効果の見込める地域である。

三河港周辺地域は、自動車関連産業を中心に発展してきたが、物流の根幹である高速道路へのアクセスが弱いという課題を抱えている。

この課題に対応するため、国により整備が進められている国道23号バイパス(名豊道路)を基軸とした、産業幹線道路の段階的な整備計画を「三河港周辺地域産業幹線道路ビジョン」として、地域の行政、経済界が協力してまとめた。

東名、第二東名、国道23号バイパスを柱とした、「はしご状幹線道路」の構築を、地域が一体となり目指している。

(2)東三河広域生活圏を支える 安全で安心できる交通体系の確立

地域全体が一体的な生活圏として、機能を連携させるため、広域幹線道路網、東三河縦貫軸を基軸とした地域の幹線道路網を整備する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

愛知県豊橋市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
国際競争力の強化のための交通サービスの向上	国道23号バイパスを基軸とした三河港周辺地域産業幹線道路ビジョンの実現 国道23号豊橋・豊橋東バイパス(名豊道路)の整備 浜松三ヶ日・豊橋道路の実現 臨海部の道路網整備(各種道路のアクセス)	物流を支える高速アクセスの整備 ●渋滞損失の軽減 ●アクセス時間の短縮	
都市交通の快適性、利便性の向上	日常的な生活圏として、東三河交通圏を整備 地域内の円滑な交通と安定性の確保 国県道を中心とした幹線道路ネットワークの整備 東三河縦貫軸、東三河環状線、259号植田バイパス等 主要な渋滞箇所における交差点改良 効率的な交通資産の活用 公共交通施策への取り組み、カーシェアリング等の研究	国県道を中心とした幹線道路網の整備 ●救急医療30分圏域(1時間圏域) ●都市計画道路整備率 ●道路改良率 ●環境負荷の低減	
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	生活道路、市街地の幹線道路等の歩道整備 橋梁等の延命化、更新	交通安全対策の推進 ●死傷事故率の減少	